



医師



共済病院では、他職種と連携して
日々の診療にあたっています。



リハビリ



言語聴覚士 / 理学療法士 / 作業療法士



臨床検査
技師



臨床工学技士



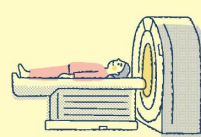
放射線技師

コメディカル
スタッフ

在宅医療



訪問看護師



私たちの強み

休み希望は

5日間 / 月

時間外 3 時間以内 / 月
前残業は必要時のみ

有給取得率

85~95%



医療法人財団 博仁会 共済病院

<https://www.kyosai-hosp.or.jp>



ホームページ



名称	医療法人財団 博仁会 共済病院
開設	昭和36年11月
理事長	本松 茂
院長	星野 徹
住所	〒336-0931 埼玉県さいたま市緑区原山3-15-31
TEL	048-882-2867 (代表)
FAX	048-882-2887
各種指定	二次救急・労災指定・生活保護・難病法
病床数	117床 (一般80床・地域包括ケア37床)
診療科目	内科:循環器内科・消化器内科・呼吸器内科・糖尿病内科・内視鏡内科 外科:消化器外科・乳腺外科・肛門外科・内視鏡外科 整形外科・婦人科・麻酔科
主な医療機器	乳房撮影装置(マンモグラフィ)、80列マルチスライスCT撮影装置、 X線透視撮影装置、外科イメージ(アイアイ)、 内視鏡検査装置[上部(経鼻あり)、下部]、超音波診断装置、MRI
職員数	273名(令和8年1月現在)



医療法人財団 博仁会 共済病院



安全で思いやりのある医療を
提供し地域を支えます

— RECRUIT PAMPHLET —

看護部基本理念

私たちは、地域の皆様に安心できる心のこもった看護を提供します。

看護部の方針

1. 患者、家族との信頼関係を築き多様化するニーズに応えられることができる看護を実践する。
2. 専門職として個人の責任において継続学習し、自己研鑽に努める。
3. 看護活動を通じて社会に貢献する。

共済病院"めざす看護師像"

- ✓ 状況に応じた適切な判断と行動ができる看護師
- ✓ お互い尊重し合い、あたたかい言葉と思いやりのある看護師
- ✓ 看護師としてキャリアを発展させ、後輩を育てることで自己成長できる看護師
- ✓ 患者中心のチーム医療の中でキーパーソンになれる看護師
- ✓ 医療人として、地域社会や病院経営に貢献できる看護師



『看護を通して、貴重な人材に成長できるよう支援します』

看護部長 村山 憲子

共済病院は、急性期病床80床と地域包括ケア病床37床、計117床を有し、訪問看護や在宅医療にも力を入れ急性期から在宅支援まで幅広い医療を提供している地域に密着した病院です。
看護師は医療チームの中で最も患者さんに近い存在です。
あらゆる場面で患者さん、ご家族が納得できる医療を受けられるよう、様々な職種と協力しながら、寄り添った看護の提供に努めています。
また職員がやりがいを感じながら生き生きと働けるように、職場環境を整え共に働く仲間の事を思いあえる職場づくりを心がけています。
看護を通して、大切な一人ひとりの「人材」が貴重な「人材」に成長できるよう継続教育や個人のキャリアアップを支援しています。



新人看護師の一日の流れ

業務開始

8:45

9:00

10:00

12:00

14:00

16:00

17:30

業務終了

● 夜勤者への引継ぎ

- 朝会/タッチ&ゴー
- ペアナースと情報共有・点滴確認

- バイタル測定
- 検温・医療処置・手術出し等

- 配膳・食事介助
- ランチタイム

- カンファレンス・看護ケア・カルテ記入

- 先輩看護師と振り返り
- 申し送り

クリニカルラダー

日本看護協会クリニカルラダーに沿って教育計画が立案されており新人からベテラン看護師まで共に学びあえる環境です。
能力段階を確認しながら自己研鑽や人材育成を目指します！

レベルⅠ

初心者ナース
(1年目)

助言を受けながら看護を実践

レベルⅡ

新人ナース
(2年目)

看護計画に基づき看護を実践

レベルⅢ

一人前ナース
(3年目以降)

個別的な看護を実践

レベルⅣ

中堅ナース

広い視野で予測的判断をし看護を実施

レベルⅤ

エキスパートナース

患者にとって最適な手段を選択し、QOLを高め看護を実施

共済病院の教育制度

人材育成とキャリア開発の方向付けを行うことで、自立した看護師への育成を目指し、院内全体の看護の質のレベルアップを図るため、充実した教育制度を整えています。

看護方式

共済病院では、安心・安全で質の高い看護を提供するためにPNS(パートナーシップ・ナーシングシステム) という2名がペアになり患者をケアする仕組みを導入しています。

PNS(パートナーシップ・ナーシングシステム)の流れ



シャドー

先輩看護師2人+新人看護師(見学)



トリオ

先輩看護師+新人看護師
+先輩看護師(補完)



ペア

数ヶ月後には、パートナーとして自立
先輩看護師+新人看護師

新人看護師の教育体制



看護部長

定期的な面談

- ・ライフスタイル・人間関係
- ・楽しいこと・困っていること



看護主任

定期的な面談

- ・人間関係で困っていること



看護師長

適宜面談

- ・睡眠状態・食欲不振
- ・体重減少・孤立感



実地指導者

日々のサポート

- ・看護技術や知識
- ・社会人としてのあり方
- ・不安・迷い・悩み



臨床指導者委員会

研修・グループワーク

新人看護師教育プログラム

看護技術習得の強化(PNSを基本としチーム全体で新人を導く)

4月～5月

- ・入職オリエンテーション
- ・基礎看護技術研修(採血、注射など)
- ・フィジカルアセスメント
- ・患者1名受け持つ



看護技術習得の強化

6月～9月

- ・受け持ち患者を段階的に増やしていく
- ・メンタルヘルス 茶話会
- ・休日出勤デビュー



茶話会のメッセージカード

10月～12月

- ・急変時の対応～BLS、人工呼吸器について
- ・メンバー業務 独り立ち
- ・夜勤デビュー



受け持ち患者の看護実践

1月～3月

- ・卒業式「1年間の振り返り」
- ・次年度の目標設定

